



草戸千軒町遺跡調査研究所 開所50周年記念

**展示会や講演会など
様々な記念イベントを開催します!**



写真 草戸千軒町遺跡調査範囲全景(昭和54年(1979)撮影)(矢印で示す中洲が遺跡の調査範囲)

令和5年度は、福山市花園町の「ばら公園」の一角にあった旧保健所に、「草戸千軒町遺跡調査所」が開設された昭和48年(1973)から数えて、50年目を迎えます。この年、広島県は草戸千軒町遺跡の発掘調査を本格的に開始し、平成6年(1994)までで芦田川の中洲にあたる約6.7ヘクタールの調査を終了しました。この間の平成元年(1989)には、草戸千軒町遺跡の発掘調査成果を中心として、広島県立歴史博物館が開館することとなりました。

この50周年を記念して、夏の展示や講演会・シンポジウムなど、さまざまなイベントを開催する予定です。どうぞ御期待ください!(詳しくは、当館ホームページ等を御覧ください。)

博物館の展示ガイドアプリ 『ポケット学芸員』を導入しました！



主な操作手順①
利用したい施設の中から、
広島県立歴史博物館を選ぶ

を自由に御覧いただけるようにするためです。

また、このことにより、来館時の利用だけでなく、来館の前後における学習等での利用や、遠隔地からのオンライン見学が可能になるなど、常設展示を幅広く知っていただくことが可能になりました。

館内に公衆無線LAN(フリーwi-fi)を整備しましたので、インターネット通信の心配なく御覧いただけます。また、解説項目も、「草戸千軒展示室」と、「通史展示室」の一部の展示品から、漸次、拡大していきますので、御期待ください。

今後とも、『ポケット学芸員』を有効に活用いただき、当館の利用をより充実したものにさせていただきたいと考えています。

『ポケット学芸員』は、個人のスマートフォンなどを利用して、展示内容を文字・画像・音声で総合的に解説する展示ガイドです。

当館では、昨年6月18日(土)から2階「草戸千軒展示室」に導入しており、4月からは「通史展示室」の一部でも導入の予定です。

当館の常設展示は、資料そのものを見学していただくことに重点が置かれ、解説文が少ない傾向にあります。新たに解説文を付け加えようとしても、資料が展示台に固定され移動できず、解説文を置くスペースが確保できないという課題もあります。また、貸出用の音声ガイドも、解説項目が少なく、詳細な解説はできていません。

『ポケット学芸員』は、新たなスペースを必要とせず、自由に解説の数や内容を設定することができるばかりでなく、新型コロナウイルス感染拡大をきっかけにした非接触型のガイドの需要や、学校教育へのタブレットの普及による学習方法の拡大などにも対応が可能な優れモノです。

当館では、導入に当たり、できるだけ多くの項目を設定しました。これは、利用者の方々の好みやニーズに合わせて、展示解説

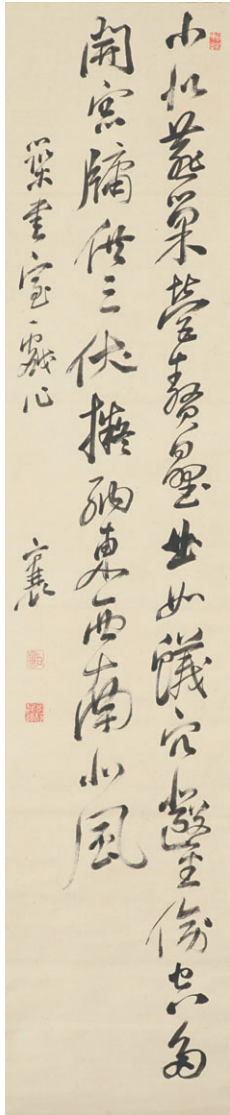


主な操作手順②
展示物の解説などの情報が
表示される

頼山陽史跡資料館

特集展

「花鳥風月な書画 — 風雅の世界に遊ぶ —」



「築堂室戯作」
頼山陽書(個人蔵)



「牡丹図」
鈴木華邨筆(個人蔵)

令和5年

4月4日(火)～5月21日(日)

頼山陽史跡資料館では、4月4日(火)から5月21日(日)まで、特集展「花鳥風月な書画—風雅の世界に遊ぶ—」を開催します。

「花鳥風月」は、自然の中の美しく風流な事物や美しい自然の風情を愛でる風雅な趣味を表現する言葉で、古くから絵画や詩歌の題として取り上げられてきました。本展ではそうした「花鳥風月」が書画としてどのように表現されたかに迫り、風雅な世界へと皆さんを誘います。

花鳥画には季節の移ろいがあり、情感を刺激してくれます。静物である花の瑞々しさや香気。今にも動き出しそうな鳥の息遣い。それらが感じられたなら、それは画が生きているということです。

これを「気韻生動」といいます。東洋絵画が重要視してきた概念です。

頼山陽の書は「唐様」と呼ばれ、漢字ばかりで難しいイメージがありますが、今回は「風」という一字に注目してもらいたいと思います。「風」という字の書体が詩の内容によってどう表現されているか。ピンポイントで観察してみてください。

「Don't think! Feel!」という気持ちで作品に向き合ってみませんか。皆様の御来館をお待ちしています。

頼山陽の書は、「堂室を築き、戯れに作る」という題で、文政11年(1828)に書斎一室を増築した際に作った詩を書いたものです。夏の暑さにそなえて、たくさん窓を開け、東西南北から吹く風が入るようにと願った、と詠んでいます。涼を感じさせる爽快な風をイメージしたのでしょうか。渴筆気味に書かれた「風」の字がアクセントになっています。

鈴木華邨は、明治・大正期に活躍した日本画家です。今ではその名を知る人も少ないかもしれませんが、花鳥山水画に優れ、挿絵や陶磁器などの工芸凶案なども手がけた人です。明治33年(1900)のパリ万国博覧会に出品し、銅牌を受賞するなど、ヨーロッパでも高く評価されました。

- 会場 / 頼山陽史跡資料館 (広島市中区袋町 5-15) TEL: 082-298-5051
- 時間 / 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日
- 入館料 / 一般: 200円(160円), 大学生150円(120円), 高校生・65歳以上無料 ※ () は団体20名以上の料金



RAI
S
A
N
Y
O
U

令和5年度の展示会のお知らせ

広島県立歴史博物館

草戸千軒町遺跡調査研究所開所50周年記念・夏の展示

草戸千軒をたんけんしてみよう！ 会期：7月29日(土)～9月3日(日)

草戸千軒町遺跡から出土した様々な道具類を展示します。中世の道具と現代の道具を比較し、その違いの有無に注目します。小学校低学年から楽しめます。

秋の企画展①

守屋壽コレクションにみる 「西洋の古地図と日本」

会期：9月22日(金)～11月5日(日)

5回目の企画展となる今回は、西洋の古地図を中心に紹介します。西洋製地図の発展史は、欧米での「日本列島の形の模索」の歴史でもありました。西洋と日本、相互に影響を及しながら発展した地図の歴史をお楽しみください。

秋の企画展②

備後一宮 吉備津神社展

会期：11月22日(水)～1月8日(月・祝)

備後有数の由緒を持つ吉備津神社の大修理完成を記念して、同社の歴史・文化を紹介します。あわせて保存修理についてもとりあげます。

早春の展示

博物館のおしごと展

会期：1月19日(金)～3月20日(水・祝)

博物館では、展示を行うだけでなく、資料の収集・管理や調査研究など、多岐にわたる活動を行っています。しかし、それらの活動はあまり知られていません。この展示では、博物館の様々な調査研究活動等を紹介합니다。

近世文化展示室

	4/1(土)～5/31(水)	7/29(土)～9/24(日)	9/29(金)～11/26(日)	12/1(金)～1/28(日)	2/2(金)～3/31(日)
菅茶山の世界	廉塾の器物	菅茶山と岡山の文化	菅茶山と朝鮮通信使	長寿を寿ぐ	菅茶山と考古関係資料
守屋壽コレクション	近世の港町と鞆の浦	江戸の風景	朝鮮通信使と琉球	長崎とオランダ・中国	ペリー来航と幕末

常設展示室(ミニ展示)

4/1(土)～5/31(水)	7/29(土)～10/1(日)	10/3(火)～12/3(日)	12/5(火)～1/28(日)	1/30(火)～3/31(日)
草戸千軒町遺跡調査研究所開所50周年記念 草戸千軒と舟	草戸千軒町遺跡調査研究所開所50周年記念 草戸千軒の板塔婆	緋 KASURI 4 -手織りと機械織り- 緋ボランティアの成果	草戸千軒町遺跡調査研究所開所50周年記念 県立福山誠之館高校寄贈資料からみる福山の遺跡	近代瀬戸内の草製品 -福山市の畳表と岡山県早島町の花ござ-

※展示会のスケジュールは、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更・中止になる場合があります。詳しくは、当館ホームページ等で御確認ください。

休館情報

令和5年6月から7月の期間、改修工事に伴い臨時休館を予定しています。詳しくは、当館ホームページ等で御確認ください。(展示公開以外の業務は行っています。)

頼山陽史跡資料館

特集展 花鳥風月な書画 ～風雅の世界に遊ぶ～ 会期 4/4～5/21	特集展 喜怒哀楽のことば 5/25～7/17	企画展 現代刀の愉しみ 7/22～9/10	特集展 知っとる!? 頼性清 ～頼家の礎～ 9/14～10/22	企画展 すっぽんぼんと生きる ～頼静子の生涯と日々の記録～ 10/26～12/10	企画展 頼山陽書道展 12/16～1/8	企画展 南画って何なん? 1/13～2/18	特別展 ひな人形と春の書画展 2/22～3/10	全国公募 南画精華展 3/16～3/31
---	------------------------------	-----------------------------	--	--	----------------------------	------------------------------	--------------------------------	----------------------------

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第134号

編集・発行

令和5年3月31日



ふくやま草戸千軒ミュージアム
(広島県立歴史博物館)
HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4-1
TEL 084-931-2513 FAX 084-931-2514
e-mailアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp
ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>
Twitter https://twitter.com/hiroshima_prhk



▲ホームページ



▲Twitter